

ふれあい交差点

災害特別号 ㊥25

23.4.12(火)

発行責任者

「ふれあい交差点」編集室

(有)藤田新聞店内

〒988-0104

赤岩五駄鱈73-2(マルホン様裏)

☎0226-24-4822

ガンバロウ!! 気仙沼! 負けないぞ、気仙沼!!

じんじん便り -「ふれあい交差点」の読者に想いをよせて-

3・11。テレビに繰り返し流れる大地震、続く大津波の猛威…、そしてガレキと化した町の惨状に、ただただ言葉を失いました。…そして二週間、日本各地、さらには世界各国からの励ましと支援の申し出のなかで、ある言葉を思い出していました。

1985年、アフリカ難民の飢餓救済に立ちあがったアメリカのトップアーティスト45人が作った歌「ウィー・アー・ザ・ワールド(ビデオ)」の中で、ナビゲーター役のジェーン・フォンダさんが紹介している言葉です。

「イギリスの詩人ジョン・ダンがこう言っています。『何人(なんびと)の死をも私を衰えさす、なぜなら私は人類の一部だから』」そして、

「飢餓の現実を目を背けてはならない、それは、『人の心の死』を意味することになる、これほど恐ろしい死はないでしょう」と結んでいます。

うれしくありがたいことに、日本国民も、そして世界の人々も、現実を見つめ、できうるかぎりの支援を行動に移しています。中には、自分の食糧さえままならない途上国の人々が…、ケニアの寒村では「私達が苦しいときにお世話になった、いま苦しんでいる日本人のために」と両手にいっぱい的大豆を差し出していました、モルジブでは大統領自ら国民に呼びかけ、モンゴルでは孤児院の子供たちが自分たちの生活保護金の一ヶ月分を、スペインの女の子は、自分の夢をかなえる為に貯めていた貯金7,000円を、アフガニスタン、ガボン…130ヶ国。

日本人の一人として、「ありがとうございます、あなたがたのご恩は一生忘れません」と頭を垂れて、心から感謝し申し上げたい気持ちです。日本人も、途上国の人にも、世界の人々にも「心の死」に至った人はいません。

被災されたあなたに軽々しい言葉はかけられませんが、私たちの心は、世界の温かい心を持った人々は、あなたの苦しみを噛みしめ、心に想い、あなたの叫びになんとか応えようと努力しています。

まもなく一ヶ月になるテレビを見ていて、『おまえたち何暗くなつてんだ、計画停電や自粛などくよくよすんじゃねー、町をなく、会社をなく、家をなく、家族をなく、仲間をなく、生きる希望すらなくしていたオレたちはもう立ち上がってるぞ、もつと口を大きく開けてガンバレ!と声援を送ってくれ、できる範囲でいいから支援してくれ、動ける範囲でいいから手伝ってくれ』と、叱咤激励されているような気がします。

私達の望む『いつもの生活』を取り戻すために、今日、一步前進しましょう。

今日一步進めば、「いつもの生活」はあなたに一步近づきます、二歩進めば二歩近づきます。やがて、それはまた「あなたのもの」として取り戻すことができます。

いっしょに、一步ずつ前進していきましょう。

田中 邦穂

「ふれあい交差点」の「じんじんだより」を毎月ご執筆いただきました壬人経営研究所及びパン工房「みらい人」代表の田中邦穂先生から、この度の被災にあたり、読者(地域)の皆さまに思いをお寄せいただきましたので、ご紹介させて頂きました。大変お忙しい中をご寄稿頂き、私たちの心に寄り添って下さいますことに、心から感謝を申し上げます。編集室

【日本財団からのお知らせ】

このたびの東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

日本財団では、災害で亡くなられた方、行方不明になられた方の遺族または親族の方々に対し、弔慰金・見舞金を贈ることいたしました。

つきましては、下記の日程により実施いたしますので、お受取りいただきますようお知らせします。

- 1、弔慰金・見舞金 死亡者・行方不明者お1人あたり 50,000円
- 2、対象者 死亡者・行方不明者の親族（代表される方1名。親族：原則として1親等または配偶者、ただし、同居など生計を共にしていた親族も対象とします）
- 3、実施日程

4月13日(水)	9:30~11:00	気仙沼小学校
	11:15~12:30	鹿折中学校
	14:00~15:00	唐桑総合支所
4月14日(木)	9:30~11:30	気仙沼市総合体育館
	13:00~14:30	階上小学校
4月15日(金)	10:10~11:30	大島小学校
	14:00~15:30	大谷公民館
- 4、持参するもの 親族を証明できるもの（免許証・保険証等）・印かん

【お手伝いが必要な方へ】～ボランティアがお手伝いします～

- お手伝いできること
ご自宅の片付け、物資の仕分け、避難所のお手伝いなどお気軽にご相談ください。
- ボランティアの依頼方法
電話かファックス、もしくは直接気仙沼市災害ボランティアセンターへお申込ください。（ファックスで申し込む場合は連絡先・詳しい状況・希望日時などをお知らせください。）
- 受付時間
毎日午前9時～午後4時までです。（ボランティア活動時間は午後3時までです。）
- お願い
私たちボランティアでは、ご要望にお応えできない場合もたくさんあります。その場合は必ずご連絡いたしますのでご了承ください。
また、住民の皆様でお手伝いをしていただけの方は、ぜひボランティアとしてお手伝いをしてください。
皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かい目で見守ってください。

気仙沼市災害ボランティアセンター

住所：気仙沼市東新城2丁目2-1 市民健康管理センター「すこやか」内

電話：22-0726 ファックス：22-0732

【セコー学院からのお知らせ】

松崎萱のセコー学院では、ボランティアネットワークから贈られてきた支援物資（ペン・ノートなどの文具やかばん、タオル、毛布などの日用品）を被災した児童、生徒さんのために無料でお譲りいたします。

4月11日(月)～15日(水)までは午前10時～午後4時。4月18日(月)以降は月・金のみで午後1時～午後4時となっています。詳細はセコー学院 22-8556まで

【BOXショップRuche (る～しゅ)からのお知らせ】

この度の大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

15日(金)、松崎浦田に手作り品の委託販売の店「BOXショップRuche (る～しゅ)」をオープンします。

被災された方たちの少しでも役に立てればと思い声掛けをしたところ、全国から古着などがたくさん届きました。これらを無料提供すると共に、生活用品も格安で販売致します。また、保育所・学校などで使う袋類も取り揃えております。

同時に、「譲ってほしいもの」も受け付けておりますので、お気軽に足を運んでください。

「BOXショップRuche (る～しゅ)」旧国道沿い、ヤンマー様隣、黄色い壁が目印の店です。

営業時間 午前10時30分～午後6時 電話 24-5680

【伝言板】

- ◎ 気仙沼高校女子の制服をお譲りします。制服は少し細めです。松岩のKさん090-1493-8091までご連絡ください。
- ◎ 面中の制服(ズボンW70)を譲って下さい。連絡先090-5355-8565小松さんまで。
- ◎ 松岩中学校のジャージ(上下セットMサイズが2着)と、松岩中学校の女子制服のスカートをお譲りいたします。必要な方は吉田さん22-5802までご連絡ください。
- ◎ 中学校の男子学生服(上だけ)をお譲りいたします。サイズは150、155、160、Y15の4着で、ボタンはついていません。鹿折中学校の生徒が着用していたものです。このほか、スポーツバック1つ(紺色)もあります。必要な方は塩田さん24-4523までご連絡ください。

※この他にお寄せいただいた情報に関しては後日掲載いたします。ご了承下さい。